特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 404 号] 令和 3 年 9 月 23 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

綾瀬川クリーン大作戦

水位と水質の研究 (5)

調査日 9 月 23 日 (木) 晴れ 《大潮》

台風 14 号が去った 5 日後、茶色く濁っていた濁り物質 (動物性・植物性プランクトン、土微粒子など) は落ち着き透明度が増していました。

透視度 83cm を記録！

この 3 年間の水質検査で最高値を記録しました。午前 8 時、満潮時の潮どまり、谷古宇橋水位計で 2.1m、ＰＨ7、ＣＯＤ 6.0 mg/L、**透視度計で 83 cm**値でした。

令和元年 最高値 52.0cm 最低値 13.0cm
令和 2 年 〃 60.0 cm 最低値 18.0 cm
令和 3 年 〃 **83.0cm** 最低値 27.0cm

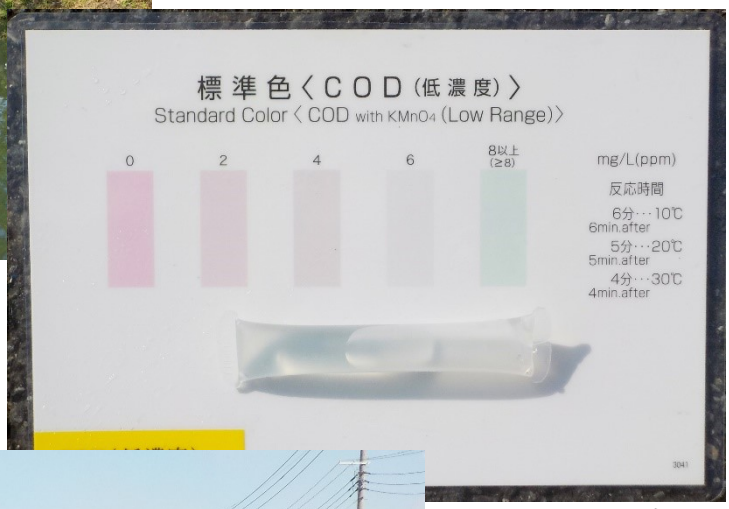
《結果》水質改善が進んでいることが 3 年間の検査で明らかになってきました。

市民の誇れる「綾瀬川」へ

おくのほそ道の風景地

国指定名勝「草加松原」

文化庁が平成 26 年に名勝「おくのほそ道の風景地草加松原」を指定したのは、草加松原と綾瀬川の一対の風景を指定したものでした。
つまり、奥州日光道中と綾瀬川の風景が名勝指定にするのが適当であると判断したものです。



目指せ「透視度 1.0m」

昭和 30 年頃、子供たちが大潮の干潮時に川の中ほどでシジミ採りをしました。

砂地に立つと自分の足先がしっかりと見えました。つまり、それだけ清流であったと記憶しています。当時の透視度は 1.0m 以上あったと思われます。
草加松原が蘇り、綾瀬川が蘇った時、本当の意味で「名勝草加松原」と胸を張って自慢できる風景ではないでしょうか。